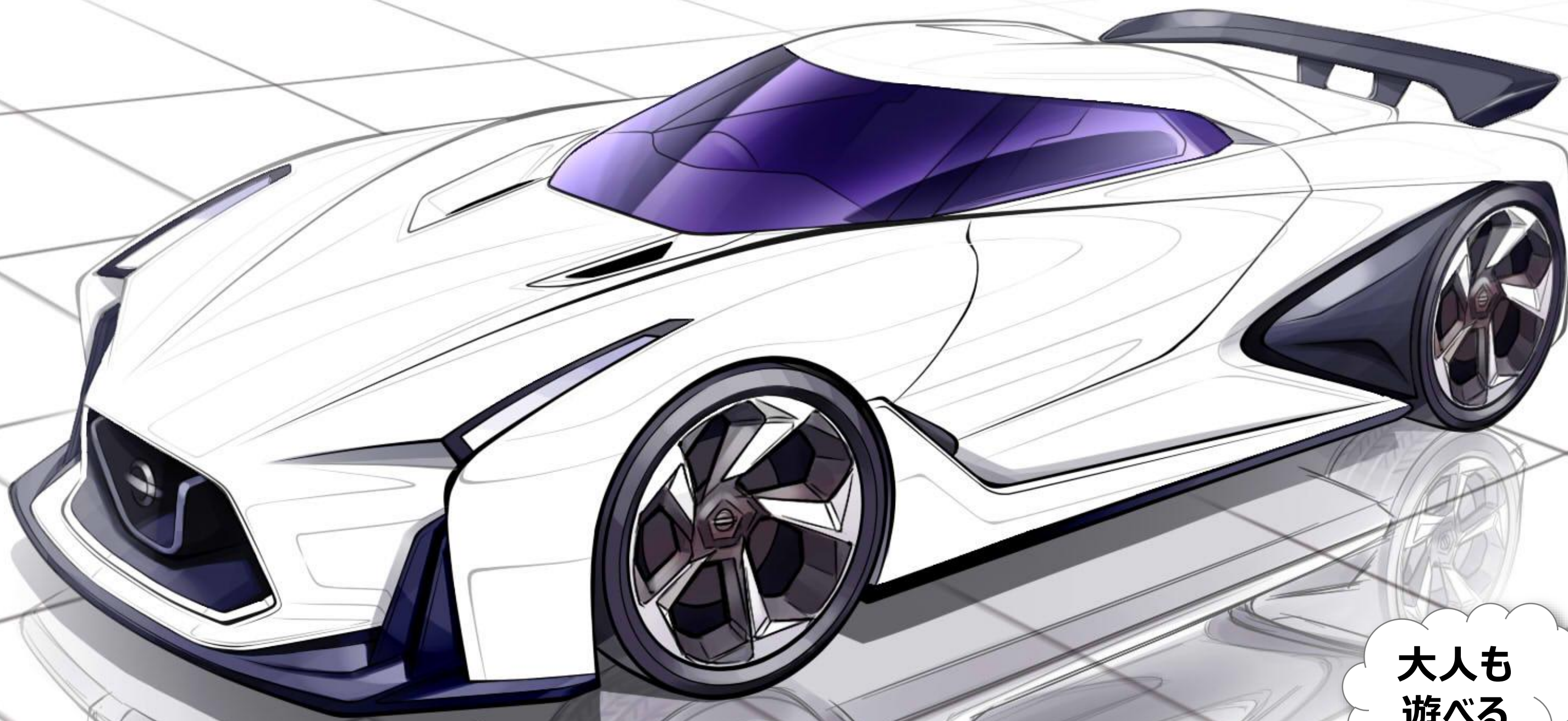




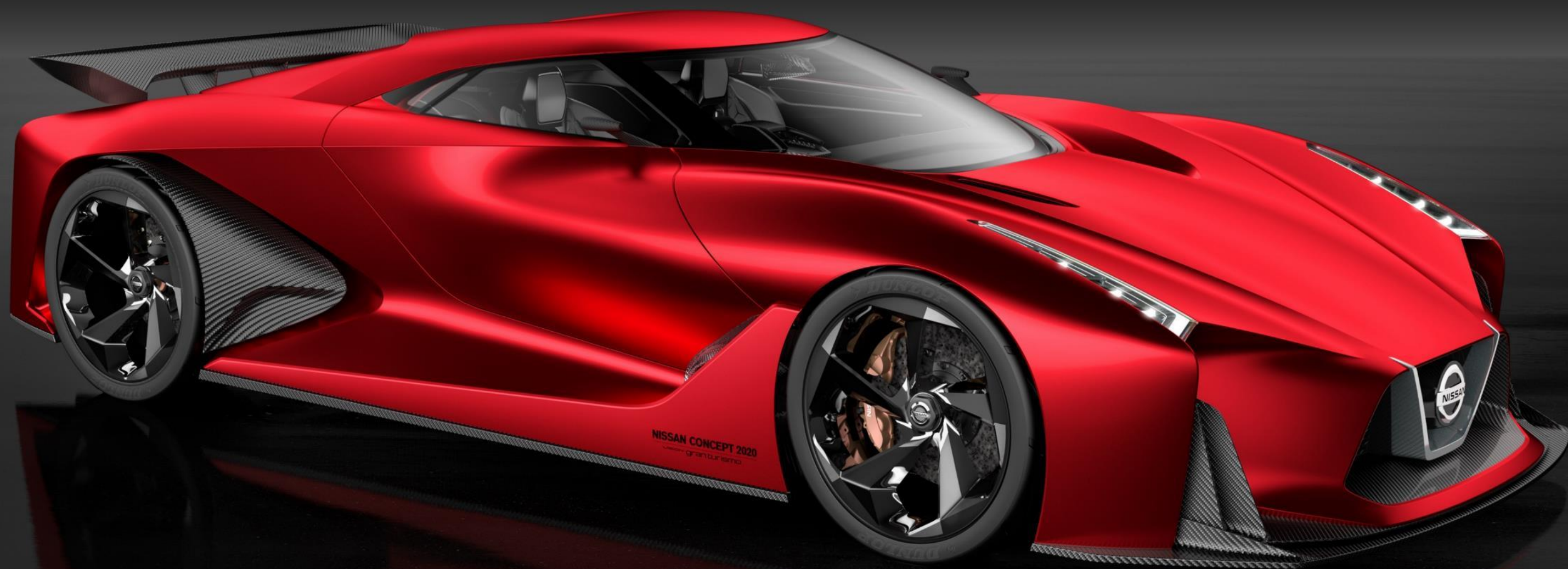
大人も
遊べる

日産デザイン

わくわくスタジオ

特製★ぬりえキット

日産のデザイナーが、こんなリアルなかんじに塗るテクニックを伝授するよ！

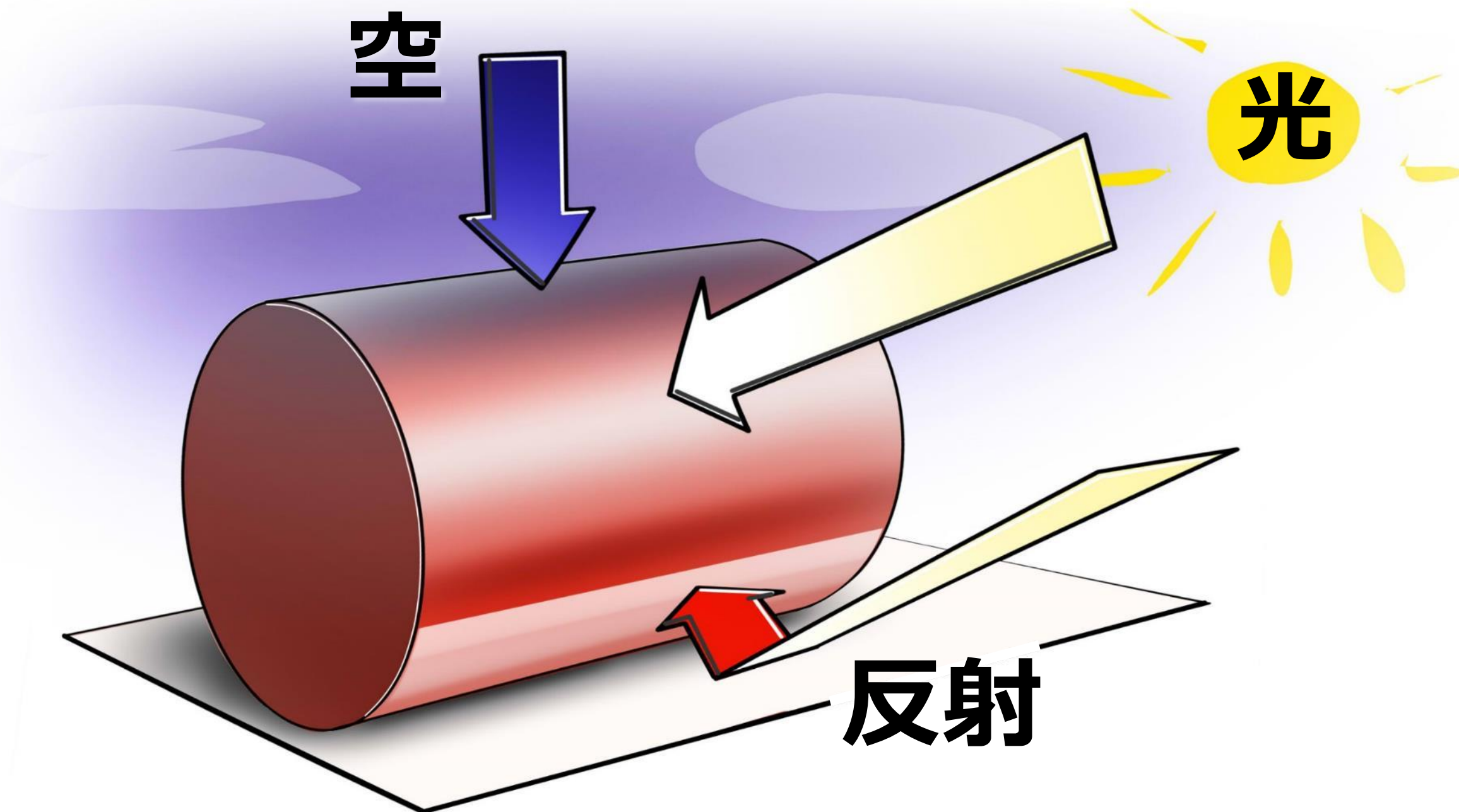


日産 コンセプト 2020 ビジョンGT

NISSAN CONCEPT 2020 Vision Gran Turismo

プロのデザイナーのぬり方：リフレクションレンダリングとは？

クルマのような反射するモノは、つねにまわりの風景を表面に反射（＝リフレクション）しています。デザイナーは、クルマのようなモノを描くときには、周りの風景の色をわざとボディ映しこませて描くことで、立体的に見えるように描きます。上の面には空の青色、斜めの面には太陽の明るい白色、下を向いた面には、道路などの地面が反射したように描きます。



道具の準備：プロのデザイナーはこんな道具を使っているよ！

基本はこの3つがあればOK！



マーカー

色も明るさもたくさんのバリエーションがあり、ムラなく早くぬることができます。プロ用のマーカーは画材店や、アニメショップでも購入できます。まずは、同系色で明るさ違いの3色を用意してみよう！



色鉛筆

下絵を描いたり、細かなところや、光ったところは色鉛筆で書いていきます。使いこなすことで濃淡を自在につけられるので、時間を掛ければ万能の活躍をします。下絵は濃い青で描くことが多いよ！



パステル

色鉛筆と同じように、ボカシながら塗ることでスケッチの表面に柔らかく豊かな面を表現できます。マーカーと併用することで、写真のようにリアルな表現が出来ます。カッターの先でパウダー状にして、ベビーパウダーと混ぜて使用します。

ぬりえの描き方：たった3色のマーカーで、立体的に見える！

明るさの違う3色のマーカーを使って、色を塗り分けてみよう！きれい塗ると、立体的に見えるようになるよ！

同じ色で明るさ（うすさ）が
ちがうマーカーを3色使います



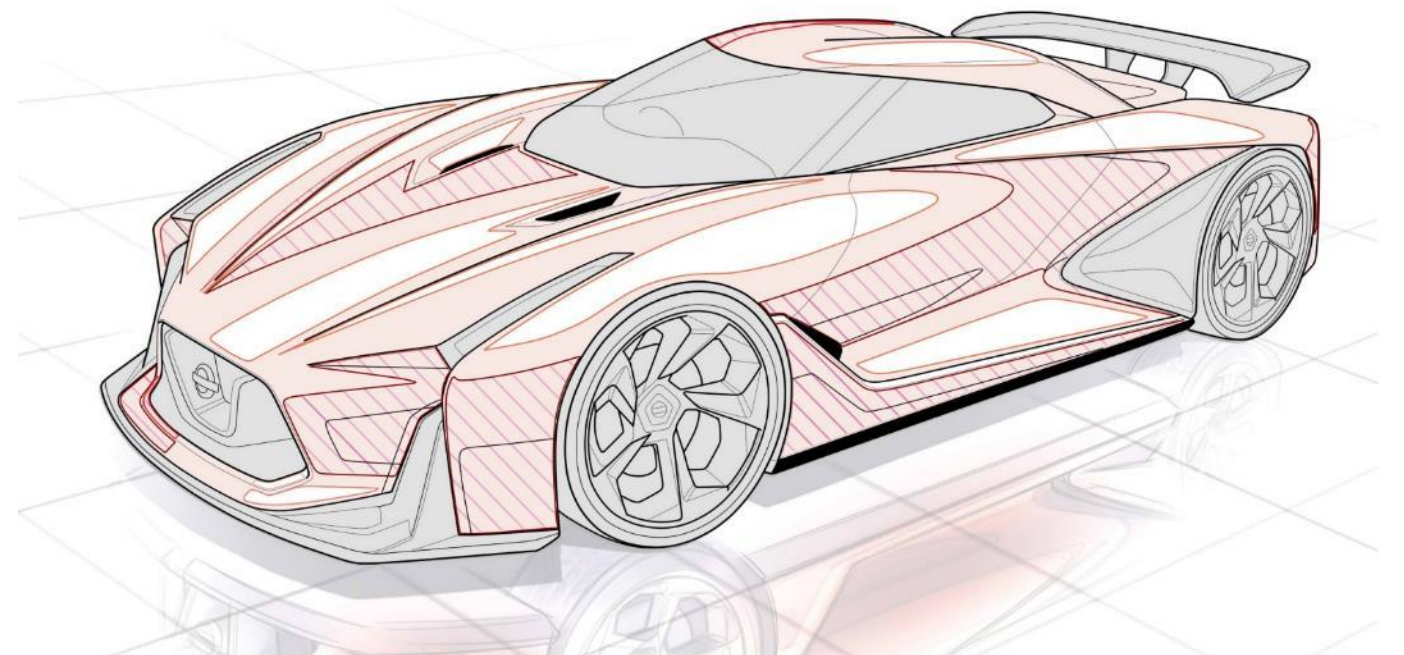
うすい色



中くらいの色



濃い色



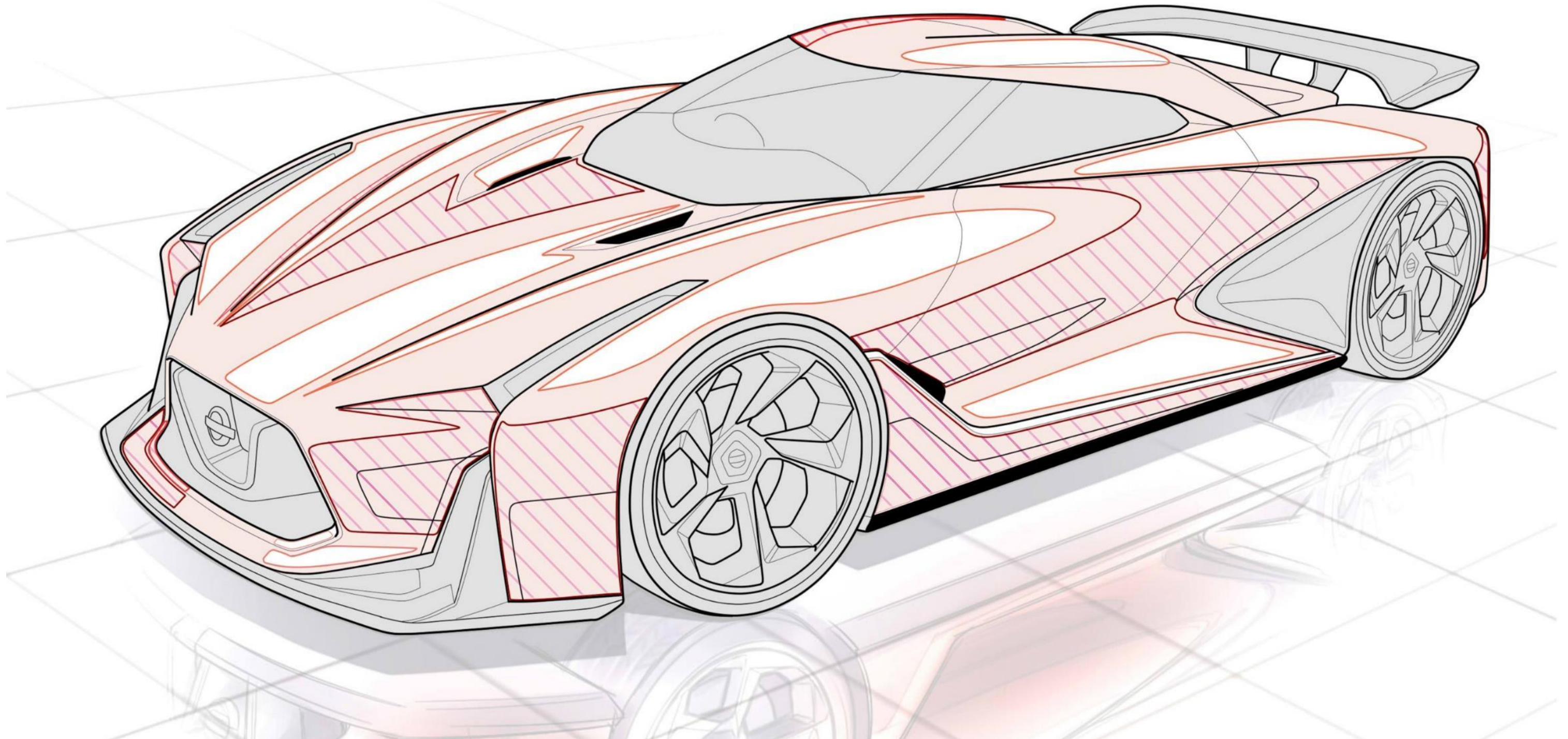
ぬりえ 下絵（塗り分け面つき）



完成イメージ

準備はいいかな？

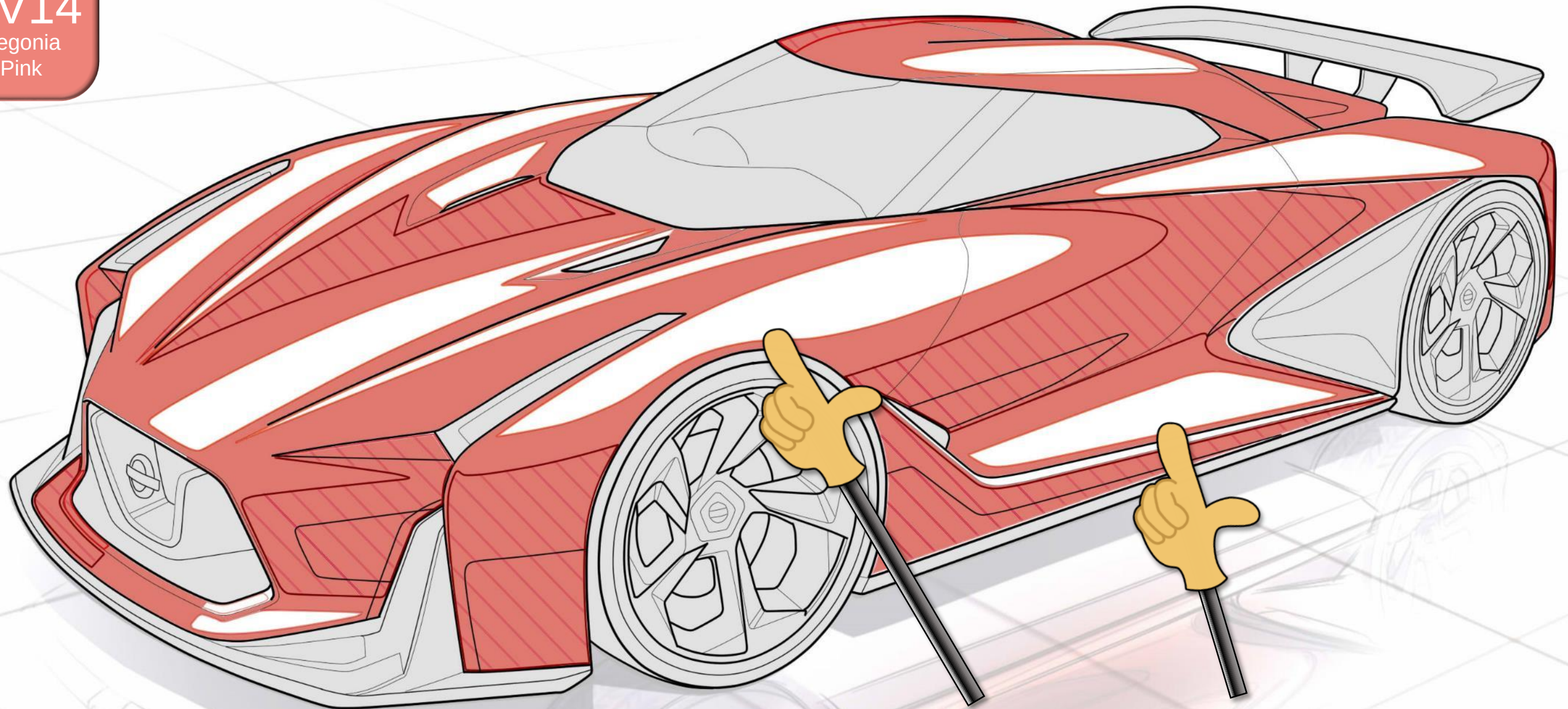
ぬりえ下絵（B）を見てみよう。ぬり分け面があらかじめ分けてあるので、ひとつひとつマーカーを使って塗ってみよう！



① まずは **うすい色** をぬってみよう！

ちょっとくらいはみ出てもいいから、大きく手を動かしてぬってみよう！（上を向いてる面だから、ボディ色よりちょっと明るい）

RV14
Begonia
Pink



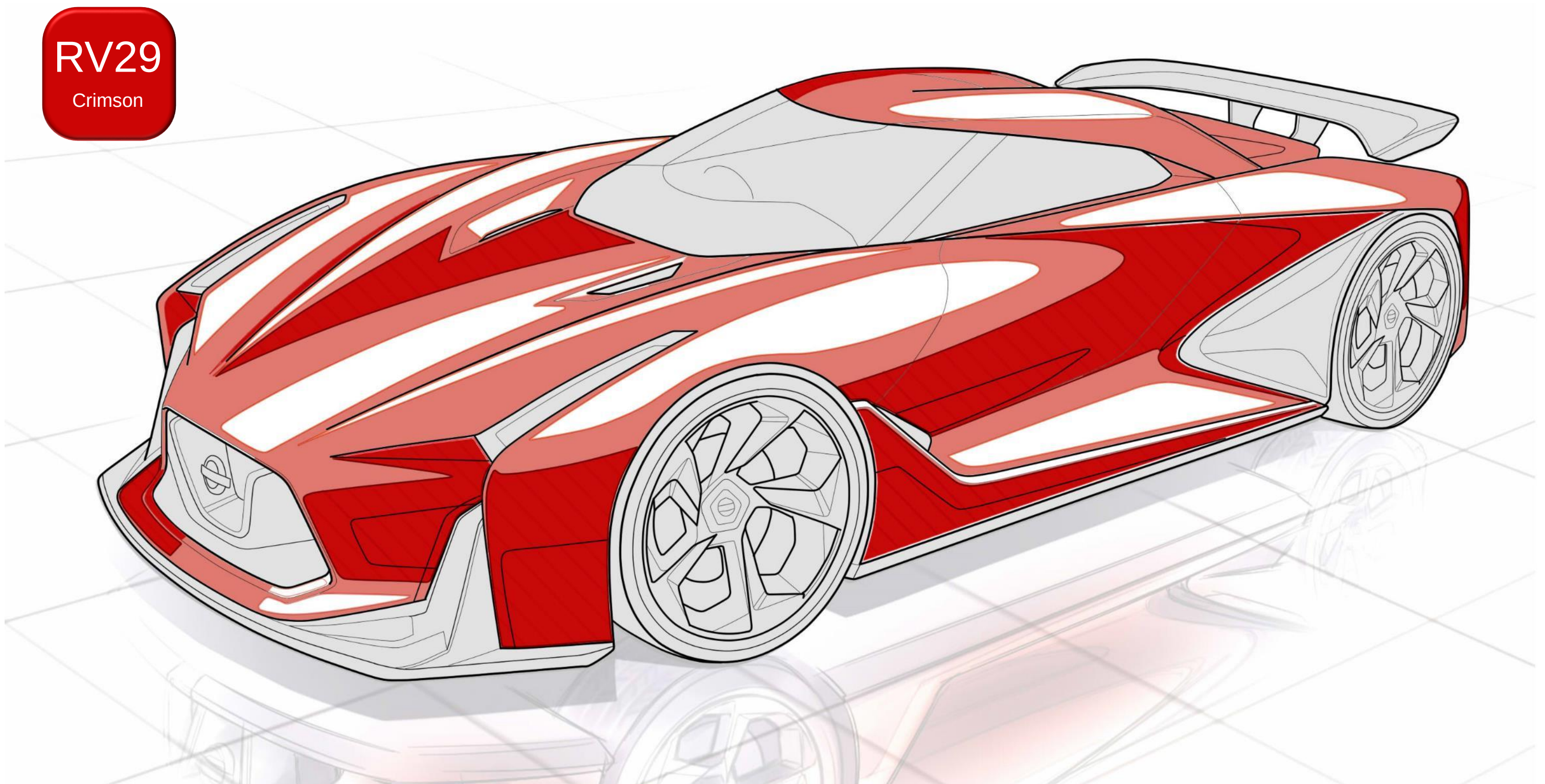
白く残すところを良く見てね！

② つぎは **中くらいの色** をぬってみよう！

斜めの線が入ったところが、濃い色のところだよ（ここが正しいボディ色になります）

RV29

Crimson

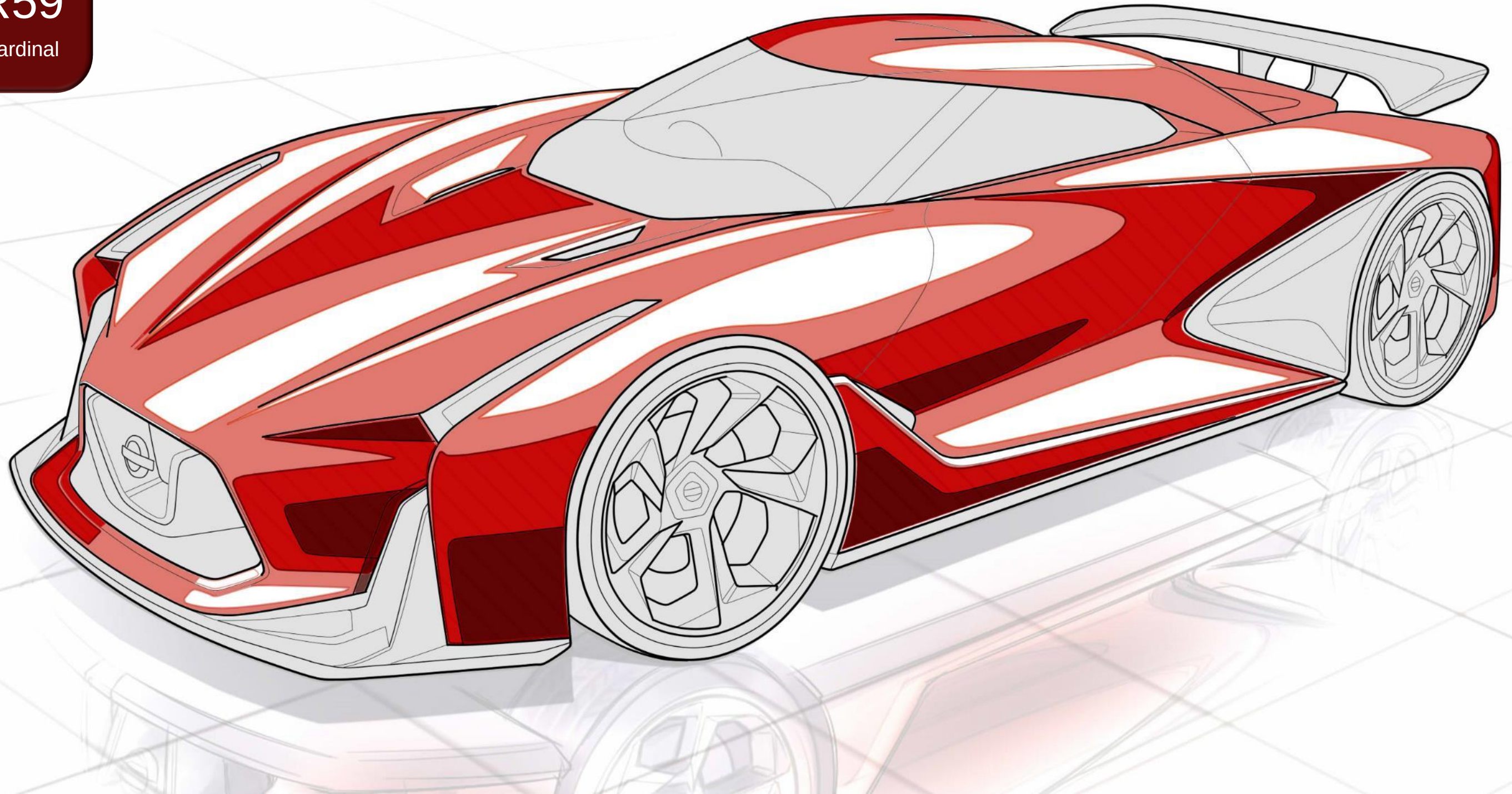


③ 最後に **陰の色** をぬってみよう！

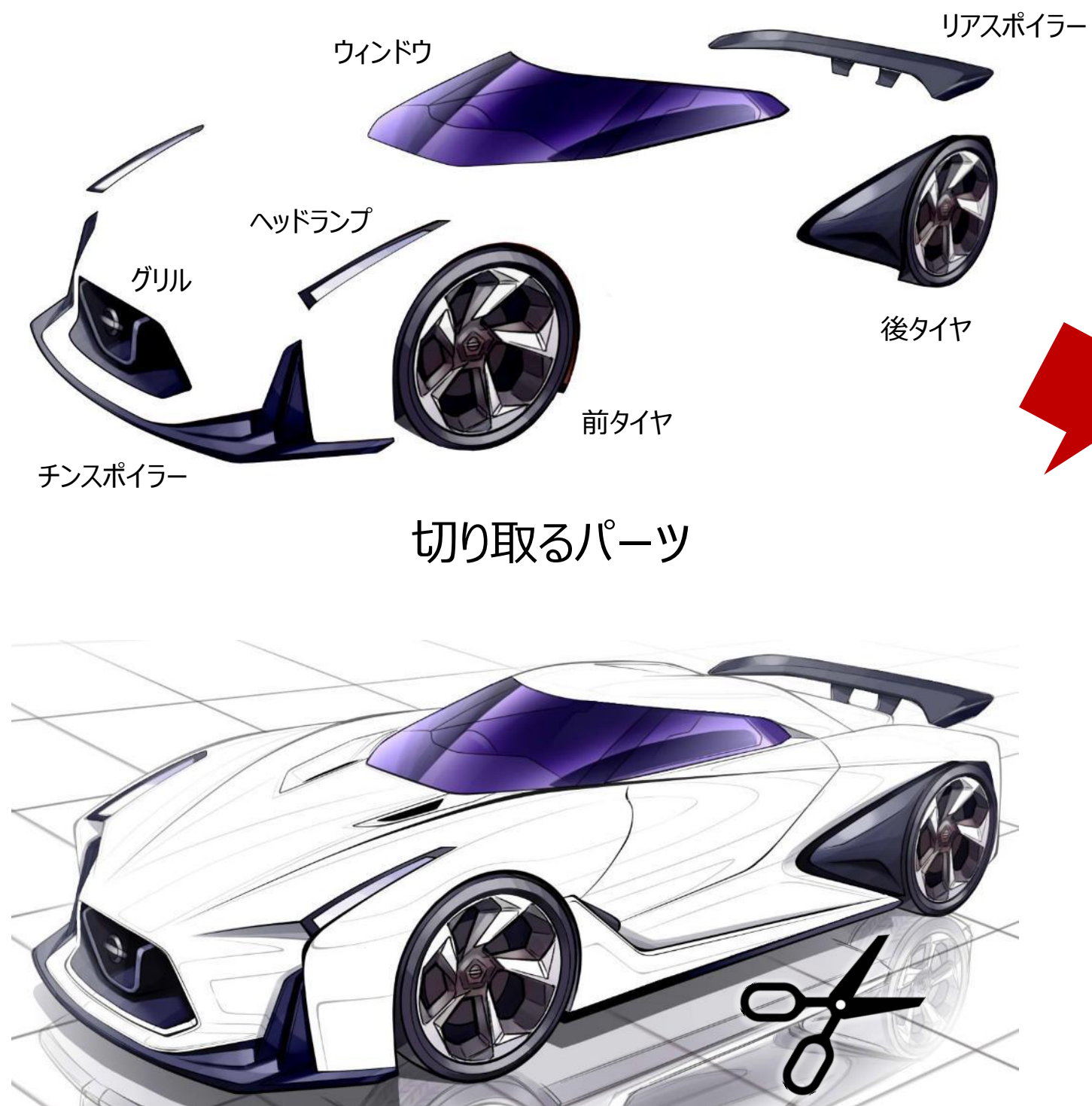
下を向いた面だから、まわりの赤よりちょっと暗いんだね。どう？ 立体的に見えてきたでしょ？

R59

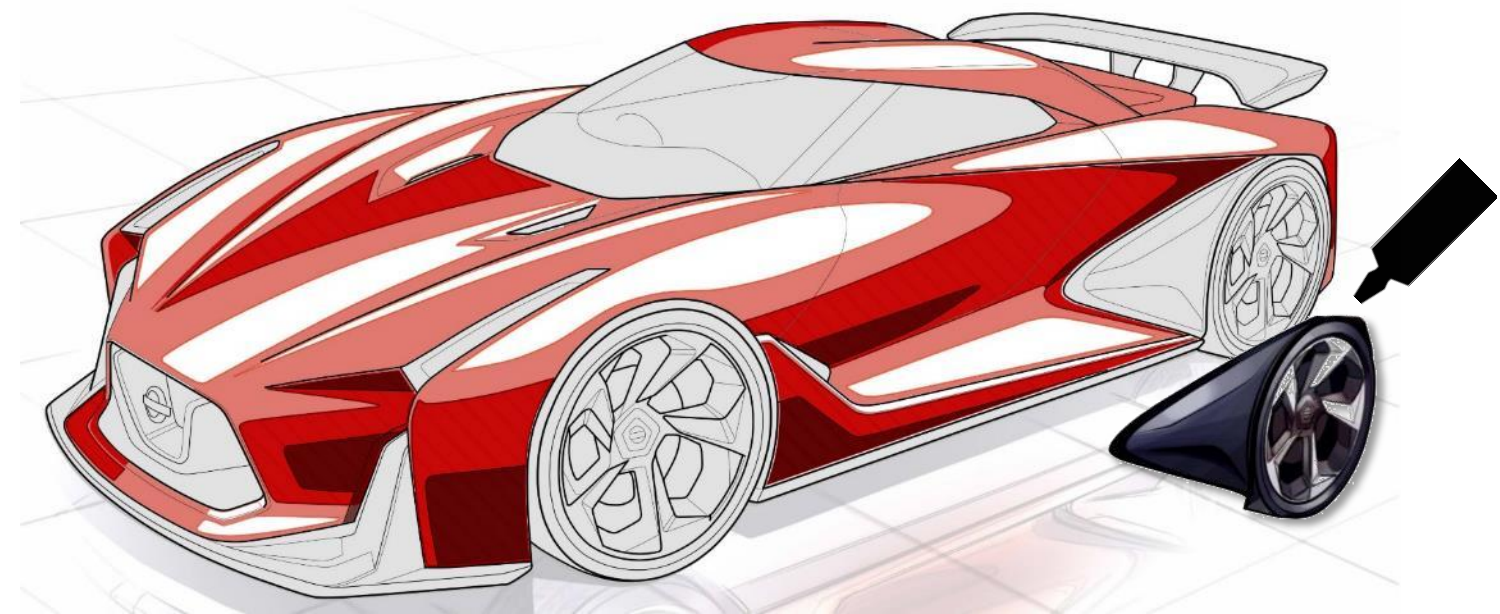
Cardinal



④ めりえ下絵(A)からパーツを切り抜いて、描いた絵に糊で貼ってみよう！

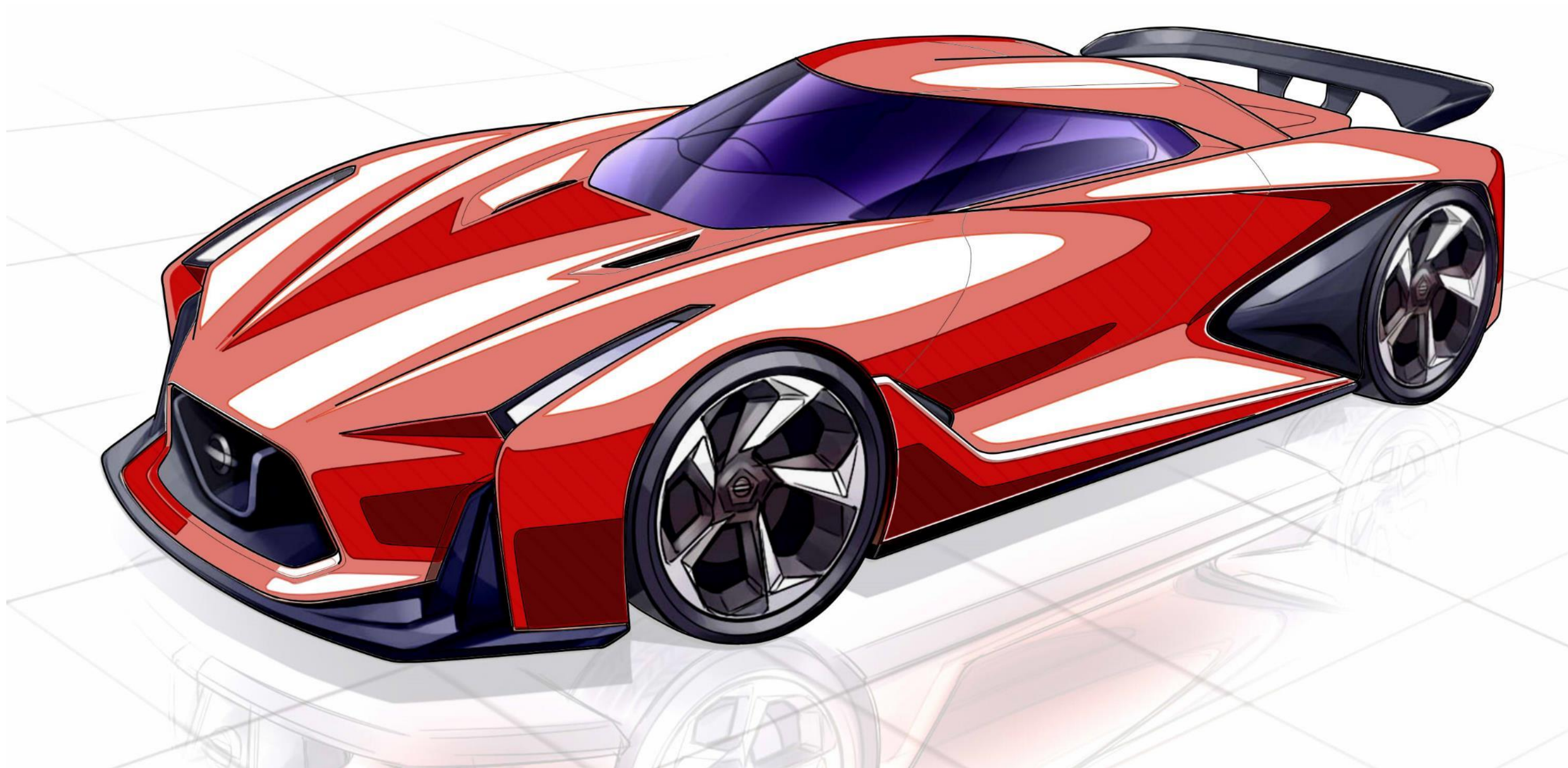


めりえ下絵(A)



糊などで貼り付けます

⑤ 完成！

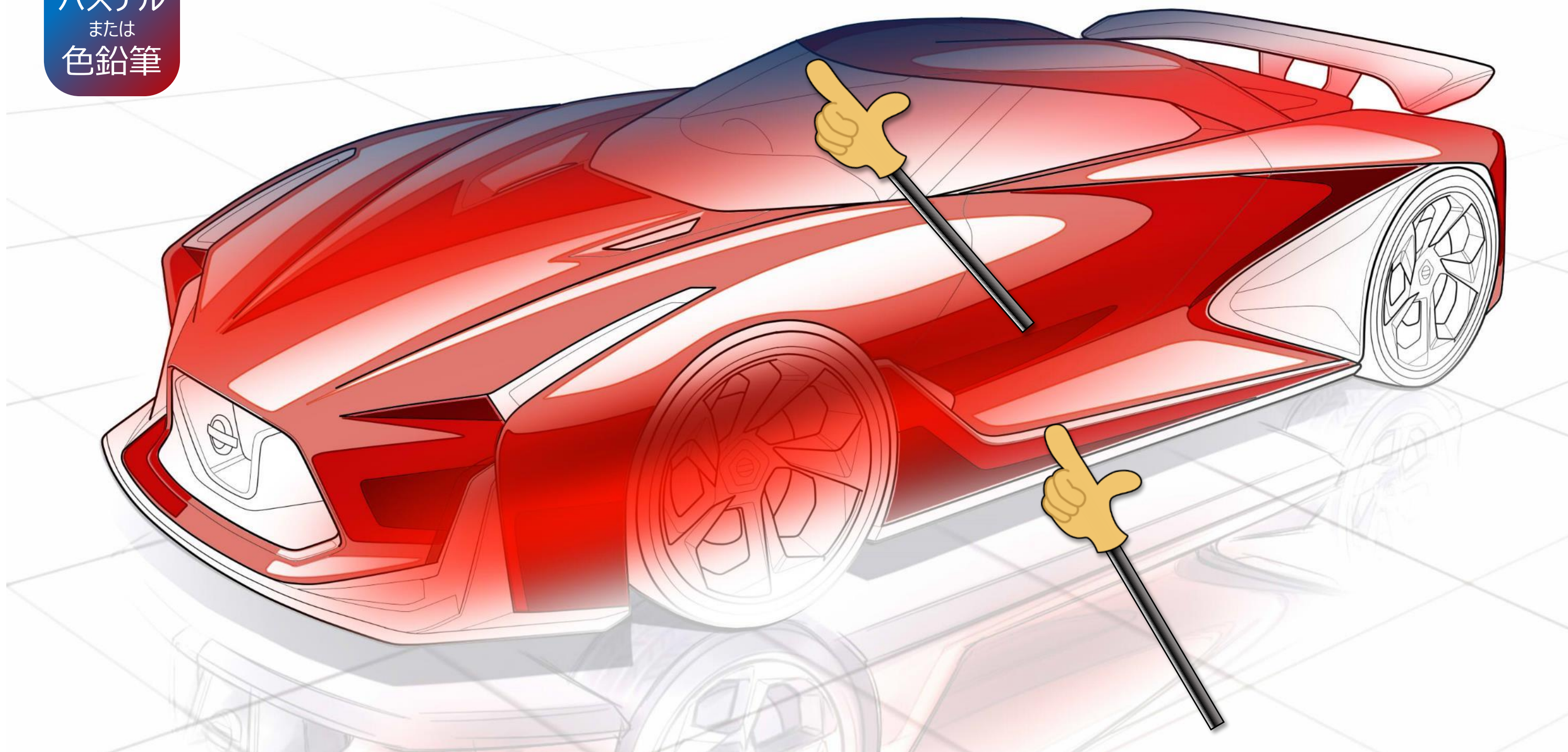


ここからは上級者編だよ！色鉛筆かパステルを用意してね！

⑥ 奥の方は **青系**、手前の方は **赤系** で、上から **ぼかし** て塗ってみよう

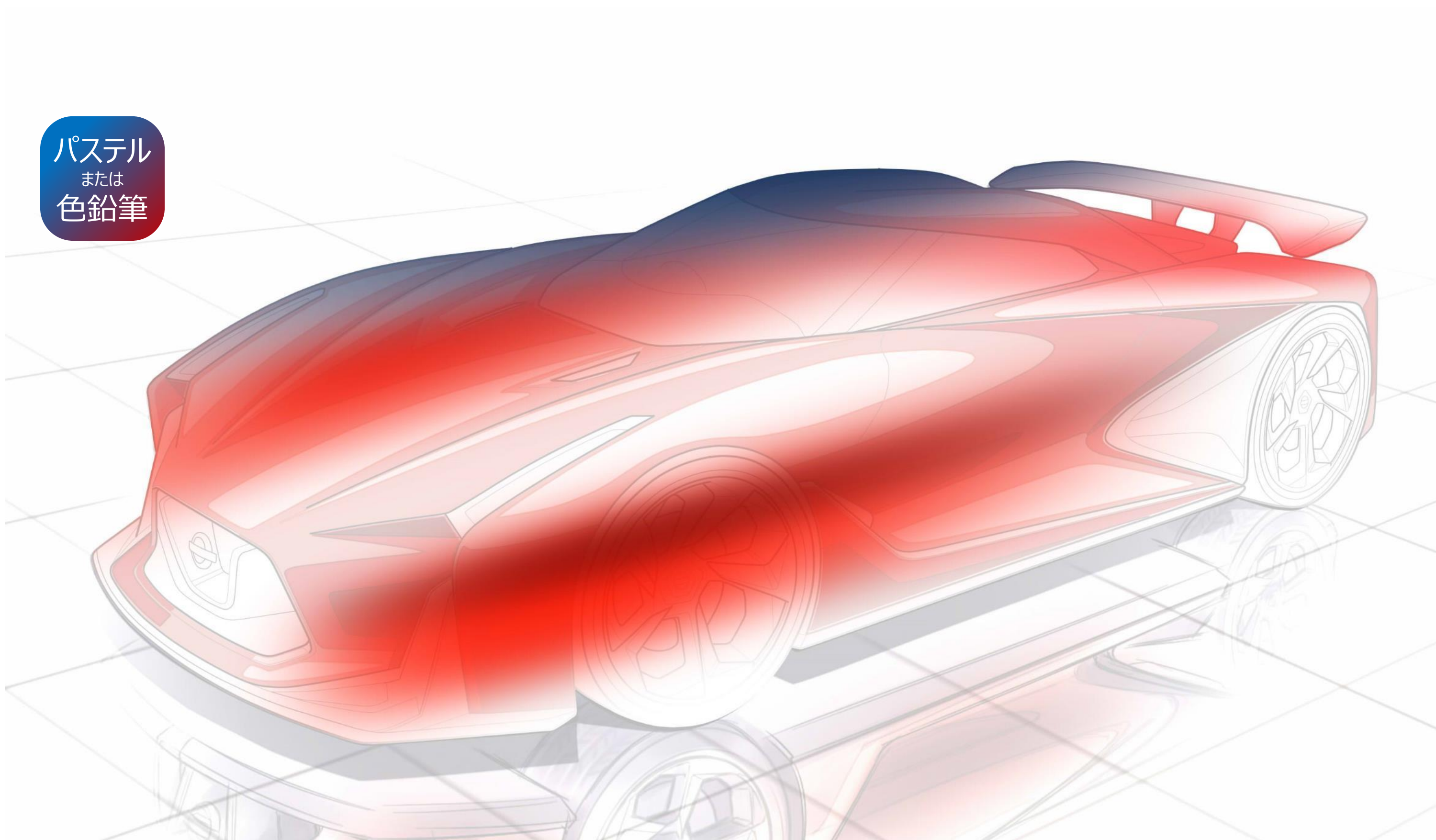
もし色鉛筆やパステルをもっていたら、マーカーの上からぼかした色を塗ることでもっと本物っぽくなるよ！

パステル
または
色鉛筆

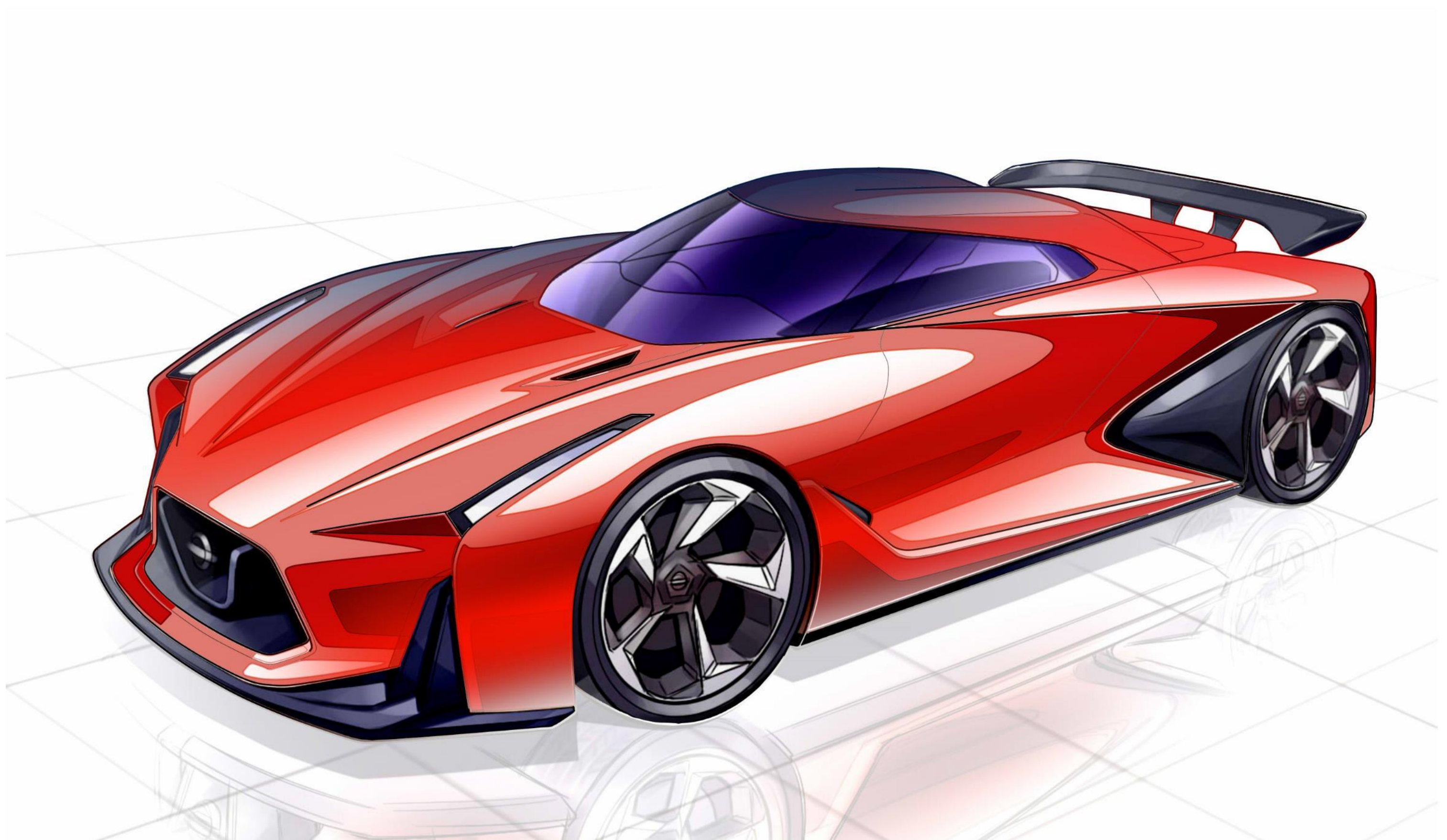


メーカーの部分を隠すこんな感じ

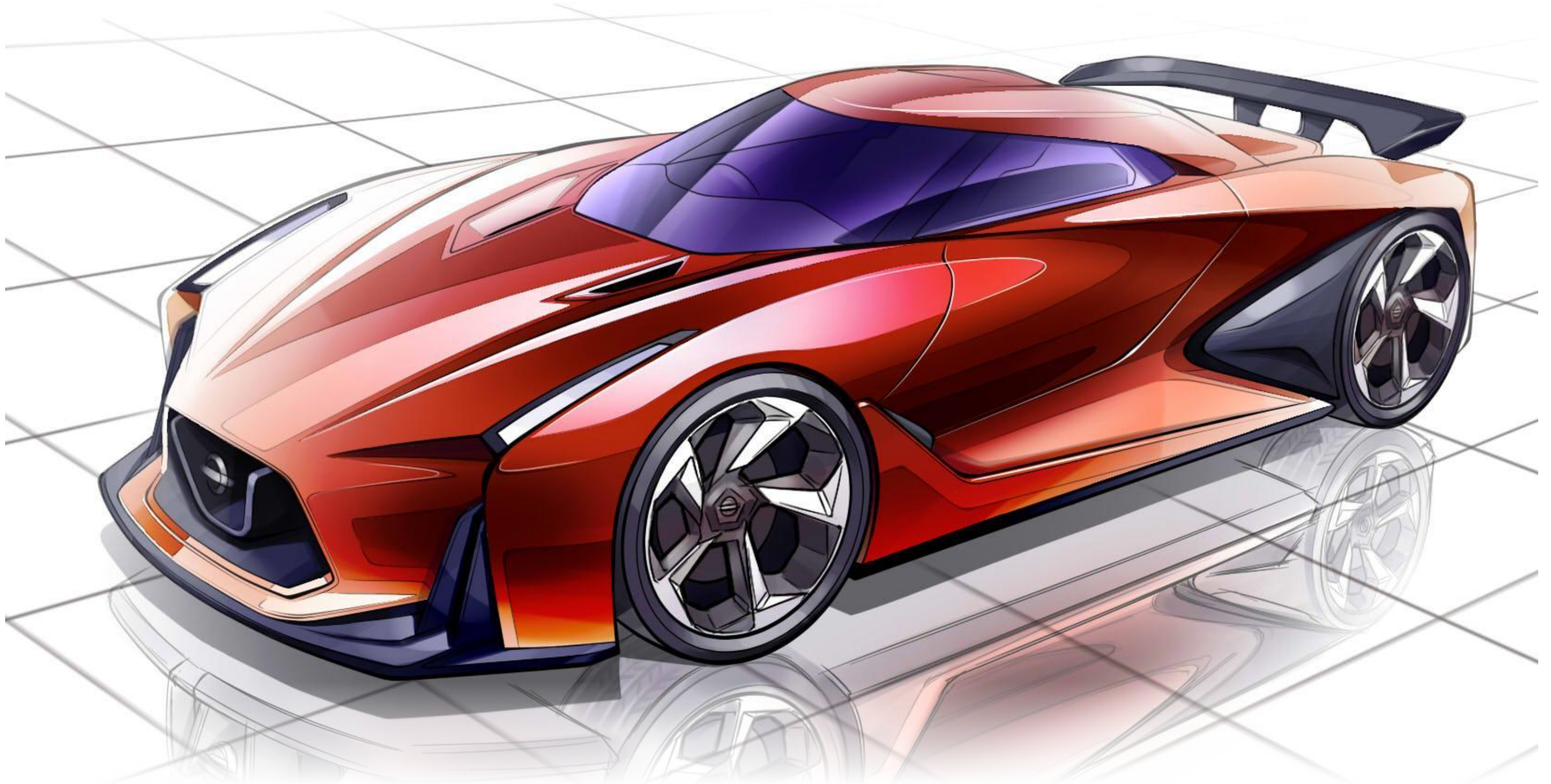
パステル
または
色鉛筆



⑦ ほら、⑤ページの完成見本より、もっとリアルになったね！



**これはプロのデザイナーがパソコンで描いたスケッチ。
細かなところを丁寧に描くことで、もっと立体的に見えるね！**

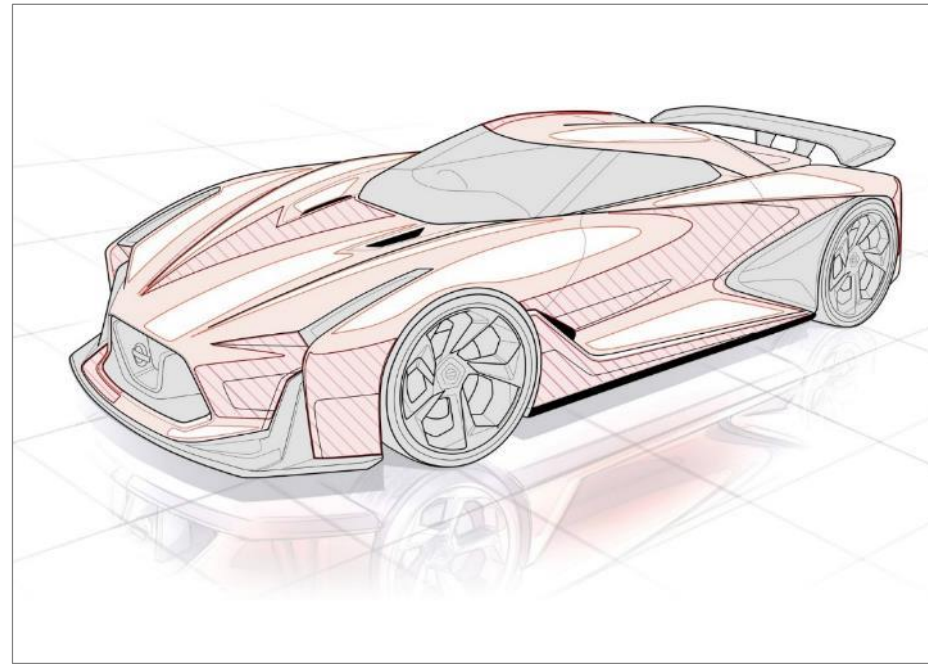


ここからのページは、印刷してぬりえの台紙や、見本として使ってね！



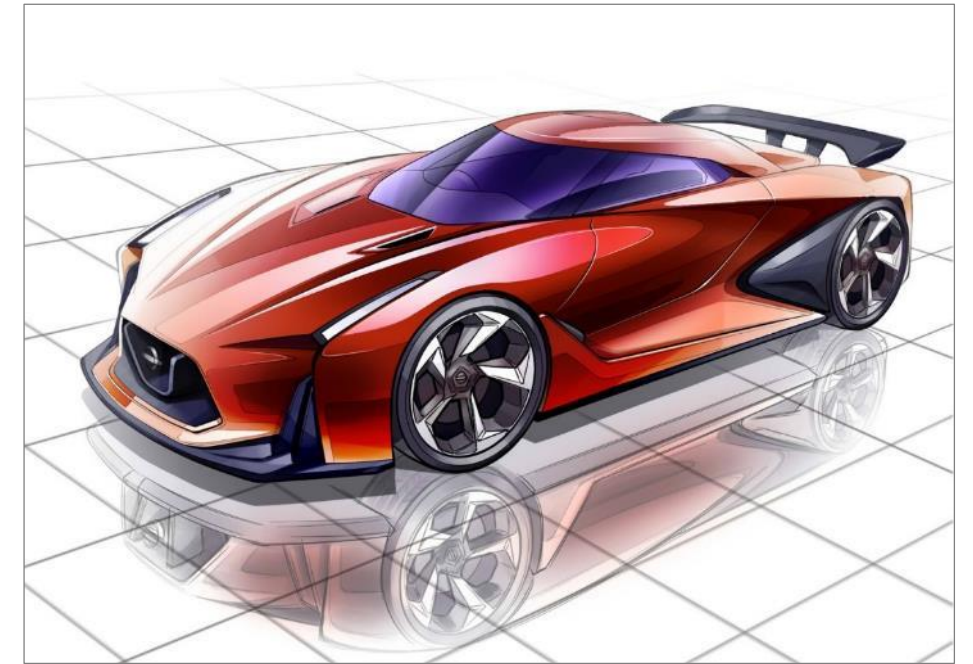
ぬりえ下絵(A)

細かいところはあらかじめ描きこんであるから、ボディを自由にぬってね！描き方次第ではプロのデザイナーのような描き方もできるから、説明書を読んでみてね！



ぬりえ下絵(B) 塗り分け面つき

説明どおりに塗ると、プロのようなスケッチが描けるよ！塗り分け面があらかじめ分かりやすく分割されているので、説明どおりに塗るとプロのようなスケッチが描けるよ！タイヤ、窓、グリル、パーツなどは塗っていないので、左の下絵をはさみで切って貼り付けてね！



ぬりえ（リフレクションスケッチ）見本

デザイナーがパソコンを使って本気で描いた見本です！ぜひデザイナーを目指して参考にしてみてくださいね！

